

目指す学校像	活気ある学校 1 確かな学力、豊かな心、健やかな体、豊かなかかわり合いをはぐくむ学校 2 安全・安心で、教育環境の整備・充実に取り組む学校 3 コミュニティ・スクールを活かし、家庭・地域・関係機関・関係団体と一体となって取り組む学校
重点目標	1 主体的に目標や課題を設定し、探究的な学びを実現できる生徒を育成するための校内研修の充実と授業実践 2 不登校生徒の解消、個に応じた対応の充実、いじめ防止指導の徹底、生徒会活動、委員会活動の充実 3 学校公開の推進、CS(学校運営協議会)の充実、体験活動の充実、地域催事、ボランティア活動への参加 4 「未来を拓く力をはぐくむキャリア教育の充実」を軸にした授業実践及び校内研修の充実

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標							実施日令和7年2月20日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<b>【学力向上に関する取組】</b> (現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、数学、社会、英語で全国平均、市平均に近い結果である。理科は、平均より上位で概ねよい結果であった。 ○学びの指標アンケートでは、4項目とも市の平均以上の結果が見られた。中でも ICT の活用が特によい結果であった。 ○授業に積極的に参加する生徒が多い。 ○友達と協力することが楽しい生徒が多い。 (課題) ○全国学力・学習状況調査で、自分の将来の夢や目標をもてていない生徒が一部いること。 ○学びの指標アンケートにおいて、自分で課題を決められていない生徒が一部いること。	「個別最適な学び」と「協働的な学び」、「探究的な学び」を目指した授業改善 「基礎的汎用的能力」の育成を目指したキャリア教育の研究と実践	①学びの「じ・し・ゃ・く」に基づく授業実践に取り組む ②タブレット端末を効果的に活用した魅力ある授業の実践と公開。 ③ICTを効果的に活用するための校内研修を5回実施し研究成果を発信する。 ①基礎的汎用的能力の育成を目標にした公開授業を全教員が年1回以上実施し、相互評価を行う。 ②学校における「キャリア教育」について講師を招聘した研修を行う。 ③発達段階に応じた進路指導・キャリア教育の実施に取り組む。	①学びの指標アンケート「探究的な学び」の項目で市平均を上回る。 ②生徒端末活用状況調査において「ほぼ毎日活用」84%以上となったか ③学校評価アンケート「わたしは、授業に積極的に参加している」で肯定評価92%以上となったか ①見通しを持ち、目標や課題を立てる力の育成を図る指導の工夫→学びの指標アンケート「主体的な学び」の項目で市平均を上回る。②課題の解決に必要な基礎学力の育成→全国学力・学習状況調査、市学習状況調査、市学力検査等の指標において市平均を上回る。 ③学校評価アンケート関連項目で肯定評価84%以上となったか	具体的方策①②各教科の授業でICTの活用が行われ、「じ・し・ゃ・く」に基づく授業を実践し公開も行った。③ICT関連の校内研修を合計5回実施した。評価指標①市平均を0.11上回る結果だった。(R6第2回調査)②90.4%で目標値を上回った。③学校評価アンケートで肯定評価が97%で目標値を上回った。 具体的方策①全教員が1回以上公開授業を実施した。②8月の校内研修で市教委指導主事を招聘し実施した。③1年生で職場体験、2年生で上級学校についての学習、3年生で将来の学校についてなど各学年で実践が行われた。評価指標①市平均を0.21上回る結果だった。(R6第2回調査)②全国学力学習状況調査、さいたま市学力検査で市平均を上回った。③教職員の学習指導・進路指導の肯定評価100%だった	A	学びの指標アンケート「探究的な学び」の項目を市平均よりプラス0.10以上となるように、学びの「じ・し・ゃ・く」に基づく授業実践と、ICTの効果的活用を図っていく。また、関連する校内研修を充実させる。 学びの指標アンケート「主体的な学び」の項目を市平均よりプラス0.20以上となるように基礎学力の定着を図る。また、学校研究課題「主体的に目標や課題を設定し、探究的な学びを実現できる生徒の育成」の研究を通してキャリア教育の充実にも努めていく。	・全国学力学習状況調査の結果などから、「早寝・早起き・朝ごはん」が出来ている生徒は「学力」も高いという相関関係が見られるので、保護者にアピールを行う。 ・「進路指導・キャリア教育」について様々な取り組みを行い、研究を推進していく。 ・アクティブラーニング(能動的学習)の取り組みを、引き続き行う～生徒たちが生き生きと活動する授業展開に取り組む。
2	<b>【安心・安全に関する取組】</b> (現状) ○教育相談部会を中心として、不登校傾向の生徒の相談・指導を組織的継続的に行うことができている。 ○日常的な教員の指導や生徒会活動などを通して「いじめを許さない環境づくり」ができている。 (課題) ○不登校傾向の生徒の教室復帰があまり進んでいない ○学校生活に対する不安や家庭環境からの不安により悩みを抱えている生徒が一部いる。	いじめを許さない学校づくり、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の実践 不登校生徒の教室復帰に向けた教育環境の整備並びに新たな不登校生徒を出さない教育相談体制の確立	①いじめ0を目指し未然防止と早期発見、積極的初期対応を適切に行う。 ②各種アンケートやおはようメーターの活用、生徒指導・教育相談活動を更に充実させる。 ③宮前中学校いじめ防止基本方針に基づいた指導を徹底する。 ①教育相談の共通理解のもと、不登校生徒と学校との関りを作り、個別最適な支援を実施する。新規不登校生徒を出さないための方策を研究する ②さわやか相談室、SC、市教育相談室等とも連携し、該当生徒に教室復帰までの小さな目標(ステップ)を作成し、一つでも上に進ませる。 ③Sola ルームを効果的に運用する	学校評価に係る生徒アンケートにおいて①「学校で命の大切さや社会のルールについて学んでいます」肯定評価95%以上となったか。②「わたしは、いじめを許さない、見過ごさないようにしています」の肯定評価90%以上③同保護者アンケート項目同90%以上となったか ①学校評価に係る生徒アンケートにおいて「学校へ来るのがたのしい」肯定評価90%以上となったか ②同保護者アンケートにおいて「お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしています」肯定評価85%以上 ③同保護者アンケートにおいて「お子さんについて気軽に学校に相談できます」肯定評価75%以上	具体的方策①いじめの認知件数として、1年生で小学校6年時に発生した事案の見守り案件が4件あったが解消している。2年生で、嫌なあだ名で呼ばれた件2件あったが現在は解消している。②いじめの早期発見にアンケートが活かされた。評価指標①肯定評価99%、②同98%、③同85%で保護者の評価が目標値90%に届かなかった。 具体的方策①②③教育相談部会や関係者で情報共有し個々に合わせた指導や支援を行い、Sola ルームも活用し不登校生徒数が減少するように取り組んだが昨年度とほぼ同じ人数だった。評価指標①生徒アンケートで肯定評価が92%で、目標値の90%を上回った。②同保護者アンケートで肯定評価が89%で目標値の85%を上回った。③同保護者アンケートで肯定評価が97%で目標値の75%を上回った。	B	生徒の人間関係を大切にするとともに、引き続きいじめの未然防止と早期発見、積極的初期対応を適切に行う。また、保護者に学年保護者会や学級懇談会等でのいじめ防止の取り組みなどの情報提供を行っていく。 不登校生徒(欠席日数が年間15日以上)の数が、昨年度と同程度だったので、引き続き各生徒の状況に応じた支援・指導を行う。また、教育復帰に向けて、Sola ルームの活用を今年度よりも増やしていく。	・いじめやトラブル発生の兆候を見逃さないようにする。 ・正しいことを見極める力を身に着ける。 ・コミュニケーション能力の育成～世の中の出来事やニュースに対する考えを他人と討論する時間を設ける。相手の意見や気持ちを否定せず共感の姿勢で話を聞くようにする。 ・困ったら相談できる力を身に着ける。また、相談できる人、相談できる相手(友人)を見つける。
3	<b>【地域とともにある学校づくりに関する取組】</b> (現状) ○学校運営協議会を立ち上げ3年が経過し、「子どもたちにどのような力を身につけさせたいか」「学校、家庭、地域が一緒にできる取組」について熟議を行い、地域とともにある学校づくりに取り組んでいる。 ○新型コロナウイルスの影響が少なくなり、授業参観や学校行事の公開が進められている (課題) ○地域人材の活用、地域資源の活用が少ない傾向にある。 ○教職員、生徒の地域催事への参加や地域貢献の方法についてできるだけ負担を少なくして実施するにはどうすればよいか。	授業参観や学級懇談会、学校行事や部活動等の公開を通じた学校公開の推進 地域との連携を図り生徒の地域行事への参加を通じた地域貢献の推進	①授業参観、学級懇談会、学年保護者会、三者面談、進路説明会、スマホタブレット安全教室等保護者への学校公開の機会を増やす。 ②体育祭、合唱コンクール、文化部の活動発表など地域にも公開を行う場の設定をして地域とともにある学校づくりを進める。 ①本校ホームページ(HP)内の学校運営協議会の情報を発信するページに家庭・地域と一緒にできる取組について載せ、地域とともに学校づくりに取り組む。 ②生徒が参加・活動する具体的方策を定め、地域と協働した取組を行う	①学校評価に係る教師アンケートで、「学校の行事予定や生徒の様子について、懇談会や二者面談、学年だよりや学校だよりなどにより、保護者との連携を図っている」肯定評価が85%以上となったか ②同保護者アンケートで、肯定評価が85%以上となったか ①学校評価に係る地域アンケートで「コミュニティ・スクール(CS)の取組により、生徒の地域行事への参加が進められたか ②学校評価に係る地域アンケートで、「学校、家庭、地域が協働し、生徒の自律につながる取組が行われている」と回答する割合が80%以上となったか	具体的方策①保護者に学校へ足を運んでもらうように学校公開を進めてきた。体育祭、合唱コンクールの他、吹奏楽部、合唱部が地域のお祭りに参加し演奏や合唱を披露した。評価指標①家庭との連携は取れていたかの肯定評価が95%で目標値を上回った。②保護者の肯定評価97%で目標値を上回った。 具体的方策①学校HP内に家庭・地域と一緒にできる取組について「あいさつの励行、美化の推進、自治会活動や地域行事への関わり」を掲載②HPに入力フォームを掲載し、依頼を受けボランティア活動を実施できている。評価指標①CSの取組により生徒の地域行事への参加が進められた。②肯定評価87%で目標値を上回った	A	4月の保護者会で、年間の行事計画を提示し、学校行事や学校公開週間等の予定を把握してもらい、行事ごとの通知でも案内し、保護者にできるだけ学校に来てもらえるよう工夫する。地域の方に行事を公開するが難しいため、地域行事などに生徒を参加させる取り組みを続ける。 HPに掲載した「あいさつの励行、美化の推進、自治会活動や地域行事への関わり」をPTAや自治会関係者などの協力を得て広めていく。	・保護者向けにメディアリテラシーに関する研修会をPTA等で企画し学校で実施する。 ・PTAと生徒会で対話を行うなど保護者と生徒が交流する場や機会をつくる。 ・地域が児童生徒の参加しやすいコンテンツを企画し、学校や家庭が子どもたちに参加を促すようにし、地域行事に参加する子どもたちを増やす。
4	<b>【教職員の資質向上に関する取組】</b> (現状) ○教員の授業力が高い。学びの指標アンケート：主体的な学び3.13(市±0)探究的な学び3.27(市+0.5)ICTの活用3.12(市+1.9)基礎的な授業スキル3.45(市+0.5)※R5.12 ○学校研究課題に組織的に取り組んでいる。 (課題) ○アンケート結果で個人差が見られる。 ○質の高い学びや深い学びに関する研修や取組が十分ではない。 ○保護者や地域はわかりやすい授業を望んでいる	授業研究日を設定し授業研究、教材研究、授業準備を行うとともに年間の校内研修を通じた資質の向上の実現	①授業研究日を活用し、教材研究を行うとともに、必要に応じて教科会や分掌会を行い授業力の向上を図る ②研究主題に対して、授業でどのような取組をしたか自分の実践や他教員の授業の参観を受け、教科会で共有し良い手立てやワークシート、評価や成績などについて情報交換を行い資質の向上に取り組む	①全ての教員が、「主体的に目標や課題を設定し、探究的な学びを実現できる生徒の育成」の実現を目指し「協働的な学び」と「ICT」活用を目指した授業に取り組む状況になったか。→校内研修に関するアンケートで肯定評価90%以上となったか ②全ての教員が「個別最適な学び」や「協働的な学び」「探究的な学び」を実践することができたか。→校内研修に関するアンケートで同90%以上となったか	具体的方策①授業研究日を5/20 7/8 10/21、11/18と実施し、教材研究を通して一人ひとりの指導力向上を図っている。②研修推進委員会を中心に校内研修を企画し、研究主題に対する理解を深め、授業公開を通じて教職員一人ひとりの指導力向上に取り組んだ。評価指標①教員の肯定評価95%で目標値を上回った。②教員の肯定評価が87%で目標値の90%には届かなかったが、生徒一人ひとりの個性を引き出す工夫が授業の中で展開できている。	B	学校研究課題「主体的に目標や課題を設定し、探究的な学びを実現できる生徒の育成」(2年次)の研究を通して校内研修を充実させる。また、授業研究日を活用し、教材研究や授業準備を充実させ、授業力の向上を図る。	・生徒へのアンケート調査で、否定的な意見を持つ生徒に対してどのように対応できるのかを分析・研究・研修するなどして、教員の指導が生徒に効果的に行き届くようにし、改善を図り。教師の資質向上を図っていく。

